



## 2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年1月13日

上場会社名 株式会社 サンデー 上場取引所 東  
 コード番号 7450 URL <http://www.sunday.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 暢朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 和嶋 洋 TEL (0178) 47-8511  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年2月期第3四半期の業績 (2020年3月1日~2020年11月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	39,764	4.7	1,636	267.4	1,667	253.3	1,076	244.7
2020年2月期第3四半期	37,979	1.3	445	15.8	472	10.5	312	37.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	100.32	99.92
2020年2月期第3四半期	29.01	28.89

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	34,578	10,831	31.2
2020年2月期	33,763	9,862	29.0

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 10,778百万円 2020年2月期 9,803百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2021年2月期	-	0.00	-	-	-
2021年2月期 (予想)	-	-	-	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

### 3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,500	2.4	1,020	169.5	1,050	159.1	550	-	51.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	10,770,100株	2020年2月期	10,770,100株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	35,575株	2020年2月期	40,123株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	10,734,086株	2020年2月期3Q	10,768,757株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件等については添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第3四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	5
(追加情報) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2020年3月1日～2020年11月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染予防のため一般消費者の外出自粛が継続したことで、経済活動が停滞し景気が悪化するなど非常に厳しい状況となりました。小売業界におきましては、同業他社や他業態との競争が激化している中、自然災害や新型コロナウイルスの感染拡大による先行き不安の影響を受けた景気の下振れリスク、個人所得減少や雇用の悪化リスクに起因した個人消費の冷え込みなど、依然として厳しい経営環境が続いております。また、新型コロナウイルス感染予防策として新しい生活様式が浸透し、商品の買い方が変化する等、営業活動への影響を強く受けております。

このような環境の中、当社は住まいと暮らしの必需品並びに農業や建築業等の仕事に不可欠な品々を多数提供する社会的インフラ機能を果たすため、お客さまと従業員の感染予防策を徹底し営業を継続してまいりました。実施した感染予防策としては、従業員のマスク着用や手指の消毒、お客さまが来店された際に手指の消毒に使用するアルコール製剤の設置、店舗の出入り口や窓を定期的に解放しての換気、全レジにおいてお客さまとチェッカーの間に飛沫感染を防止する透明ビニールシートの設置、買い物カゴやショッピングカートなど多数のお客さまが触れる部分の消毒、お客さまがレジで会計をお待ちになる際に社会的距離を保つ目安の設置などを行いました。ご来店いただいたお客さまが安心してお買い物を楽しむことができるよう、今後も感染予防策を継続してまいります。

また、お客さまの利便性を向上させるために実施しているSUN急便（商品を宅配するだけでなくDIYアドバイザーの資格を持つ従業員が補修・修繕・取付まで実施するサービス）につきましては、新型コロナウイルスの感染予防のために外出を自粛している方からの注文が増加いたしました。

一方、当第3四半期累計期間における出店といたしましては、上半期のいわき平店と塩釜店の新規出店に続き、当社として新しい業態となるペット専門店を青森県八戸市に開店いたしました。

商品面では、外出を自粛し家で過ごす時間が増加した方に向け、家屋の補修や修繕に関する商材を提案したことで、木材、金物、工具、塗料などのDIYに関連する商材の販売が前年を上回る状況が継続いたしました。また、新型コロナウイルスの感染予防に関連する商材としてマスク、ハンドソープ、消毒液、除菌シートなどの販売好調が継続したほか、外出を自粛している方に向けて、自宅での食事を楽しむための商材を提案したことで調理家電、調理用品などの販売が好調に推移いたしました。

これらの結果、当第3四半期累計期間における当社の売上高は397億64百万円（前年同期比17億84百万円の増）、営業利益は16億36百万円（前年同期比11億91百万円の増）、経常利益は16億67百万円（前年同期比11億95百万円の増）、四半期純利益は10億76百万円（前年同期比7億64百万円の増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に対して8億14百万円増加し345億78百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加4億20百万円、受取手形及び売掛金の増加1億49百万円、原材料及び貯蔵品（災害備蓄品等）の増加2億1百万円、投資その他の資産（長期貸付金等）の増加2億22百万円等によるものであります。

負債については、前事業年度末に対して1億53百万円減少し237億46百万円となりました。これは主に商品仕入増加による支払手形及び買掛金の増加4億95百万円、未払法人税等の増加5億40百万円、流動負債その他（未払金、未払消費税等）の増加4億87百万円、短期借入金の減少18億50百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加2億38百万円、長期借入金の減少1億3百万円等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に対して9億68百万円増加し108億31百万円となりました。これは主に四半期純利益10億76百万円の計上と配当金の支払い1億7百万円等によるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期通期の業績予想につきましては、2020年10月1日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	880,415	1,301,327
受取手形及び売掛金	571,581	721,040
商品及び製品	11,072,424	11,024,065
原材料及び貯蔵品	73,285	275,171
その他	477,249	582,818
流動資産合計	13,074,956	13,904,424
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,336,999	6,179,178
土地	8,481,207	8,436,881
その他（純額）	1,962,058	1,924,953
有形固定資産合計	16,780,265	16,541,013
無形固定資産		
その他	120,637	122,427
無形固定資産合計	120,637	122,427
投資その他の資産		
その他	3,794,823	4,017,707
貸倒引当金	△7,554	△7,534
投資その他の資産合計	3,787,268	4,010,172
固定資産合計	20,688,170	20,673,614
資産合計	33,763,127	34,578,038
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,266,122	9,761,622
短期借入金	4,050,000	2,200,000
1年内返済予定の長期借入金	2,414,400	2,652,500
未払法人税等	94,681	635,389
賞与引当金	267,688	311,050
その他	1,860,785	2,348,658
流動負債合計	17,953,678	17,909,221
固定負債		
長期借入金	3,898,500	3,794,600
退職給付引当金	211,576	192,742
資産除去債務	783,906	794,927
その他	1,053,024	1,055,369
固定負債合計	5,947,008	5,837,639
負債合計	23,900,686	23,746,861
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,241,894	3,241,894
資本剰余金	3,258,111	3,256,917
利益剰余金	3,372,456	4,341,951
自己株式	△63,306	△56,135
株主資本合計	9,809,155	10,784,628
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,812	△6,489
評価・換算差額等合計	△5,812	△6,489
新株予約権	59,098	53,037
純資産合計	9,862,441	10,831,176
負債純資産合計	33,763,127	34,578,038

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）
売上高	37,979,228	39,764,162
売上原価	26,720,831	27,307,897
売上総利益	11,258,396	12,456,264
販売費及び一般管理費	10,812,850	10,819,477
営業利益	445,545	1,636,787
営業外収益		
受取利息	2,999	3,284
受取配当金	1,936	1,918
受取手数料	5,155	3,843
受取賃貸料	80,758	78,611
その他	22,357	27,940
営業外収益合計	113,208	115,599
営業外費用		
支払利息	47,973	41,620
賃貸費用	28,934	27,198
その他	9,710	15,737
営業外費用合計	86,618	84,556
経常利益	472,135	1,667,830
特別利益		
固定資産売却益	21,915	—
特別利益合計	21,915	—
特別損失		
固定資産売却損	8,074	15,838
減損損失	—	32,510
特別損失合計	8,074	48,349
税引前四半期純利益	485,976	1,619,480
法人税、住民税及び事業税	246,512	655,458
法人税等調整額	△72,949	△112,771
法人税等合計	173,563	542,686
四半期純利益	312,413	1,076,794

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り）

当社では、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、四半期財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の影響に起因する経済活動の低迷により、一般消費者の生活防衛意識が高い状態が当面継続し、個人消費も低迷するものと想定しておりますが、事業への影響は限定的と考えております。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間（自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間（自 2020年3月1日 至 2020年11月30日）

当社は、ホームセンター事業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。